

みんなで守ろう 私たちの医療

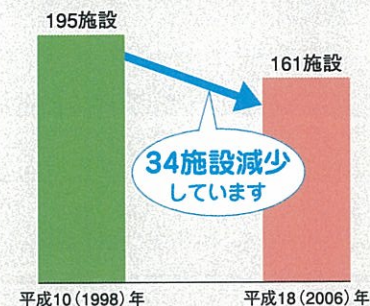
～あなたも地域の医療を支える一員です～



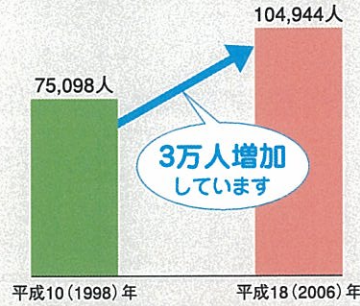
ご存じですか? 広島県の医療の現状

地域の救急病院では、休日や夜間の救急外来に患者が集中し、待ち時間が長くなったり、重症救急患者の円滑な受け入れが難しくなっています。
また、患者の都合の優先や受療マナーの悪化、過重労働等の厳しい勤務環境などにより、医師などの負担が増加しています。

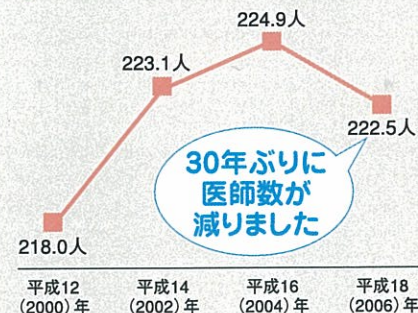
●救急告示医療機関数の推移



●救急搬送患者数の推移



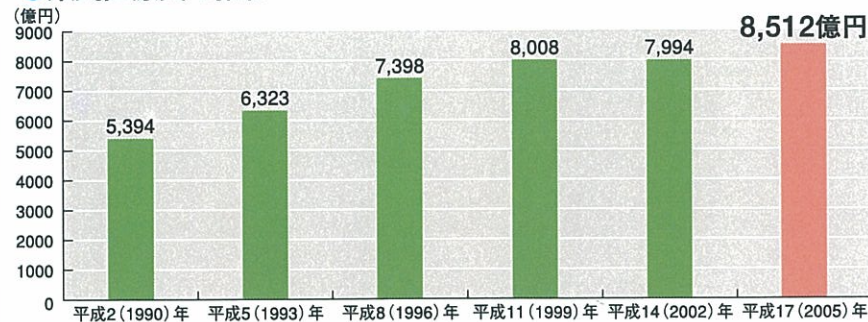
●人口10万対医師総数の推移



このままでは、適切な医療体制を維持することが難しくなっています。

医療費の増加により、私たちが加入している医療保険の財政が苦しい状況になってきています。

●県民医療費の推移



●1人あたり県民医療費(平成17年度)

入院 **105,318円** 第22位 外来 **118,144円** 第3位

私たちにできること

地域医療を守るために、ともに考え、ともに行動しましょう

できるだけ医療機関の通常の診療時間内に受診しましょう!

- 救急医療は、あくまでも緊急事態に備えるもので限られた医療スタッフで運営されています。
- 検査など含めた診療体制が整っている通常の診療時間内に受診しましょう。



今、診てもらえる病院・診療所は?

救急医療情報ネットワークを活用して、最寄りの当番医や急患センターなどを探しましょう。

- 広島県救急医療情報ネットワークで検索
- <http://www.qq.pref.hiroshima.jp/>



かかりつけ医を持ちましょう!

- かかりつけ医は身近で頼れる、健康管理に欠かせないパートナーです。
- 気軽に何でも相談できる「かかりつけ医」を持ち、早めの受診を心がけましょう。



休日や夜間に急病で受診するときは!

- 比較的症状の軽い方は、地域の休日夜間急患センターや在宅当番医をご利用ください。
- 救急病院は、緊急でやむを得ない場合のみ利用するなど、適切な受診にご理解とご協力をお願いします。
- ※受診する場合は、医療機関にあらかじめ電話で確認してください。



子どもが急病の場合には?

すぐに救急病院に行くべきかなど、小児科医師などが電話でアドバイス。

- 子どもの救急電話相談(365日、19:00~22:00)
☎#8000 または ☎082(505)1399
- パパママ応援「おうちの看護」携帯サイト
<http://www.yumezaidan.or.jp/k/kango/>
ひろしまこども夢財団 ☎(FAX)082(212)1007



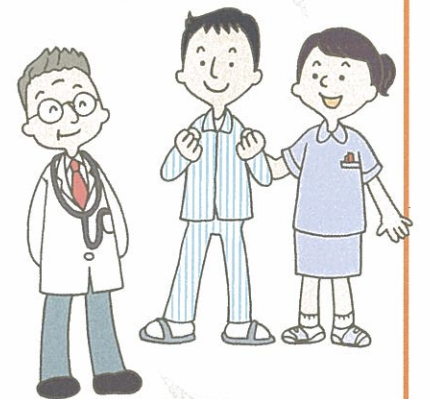
普段から心がけておきたいこと!

- 家庭救急医学、応急手当の基礎知識などを学びましょう。
- 受療マナーを守って、医師とのコミュニケーションを大切にしましょう。
- 「お薬手帳」を持つことで、自分の薬歴を把握し、薬の重複や飲み合わせに注意しましょう。
- 健康診断などを積極的に受け、病気の予防や早期発見に努めましょう。



私たちの手で地域の医療を守ることが、健康で安心して暮らせる地域づくりにつながります。

病院での待ち時間が短縮され、重症患者への対応が迅速になるなど、安心して医療が受けられます。



負担が軽減され医療従事者のモチベーション(意欲)が向上します。

適切な医療が受けられるとともに、医療費の節約にもなり、医療保険制度を持続可能にします。

